



フリースクールがやってる完全個別指導のオンライン学習会「ノ・マド」活動報告書

(公財) 日本財団 2020年度 新型コロナウイルス感染症に伴う社会活動支援事業

2020.10.20 – 2021.03.31

特定非営利活動法人 志塾フリースクールラシーナ

Supported by
 日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

事業概要

1.通塾が困難な小・中学生向けのオンライン学習支援（covid19支える）

（１）時期：2020/10/20～2021/3/31

（２）場所：大阪府富田林市、堺市

（３）参加者：21名（小中学生対象）

（４）内容：オンラインによる学習支援、設定済みパソコンの貸し出し、各家庭のインターネット接続設定のサポート等

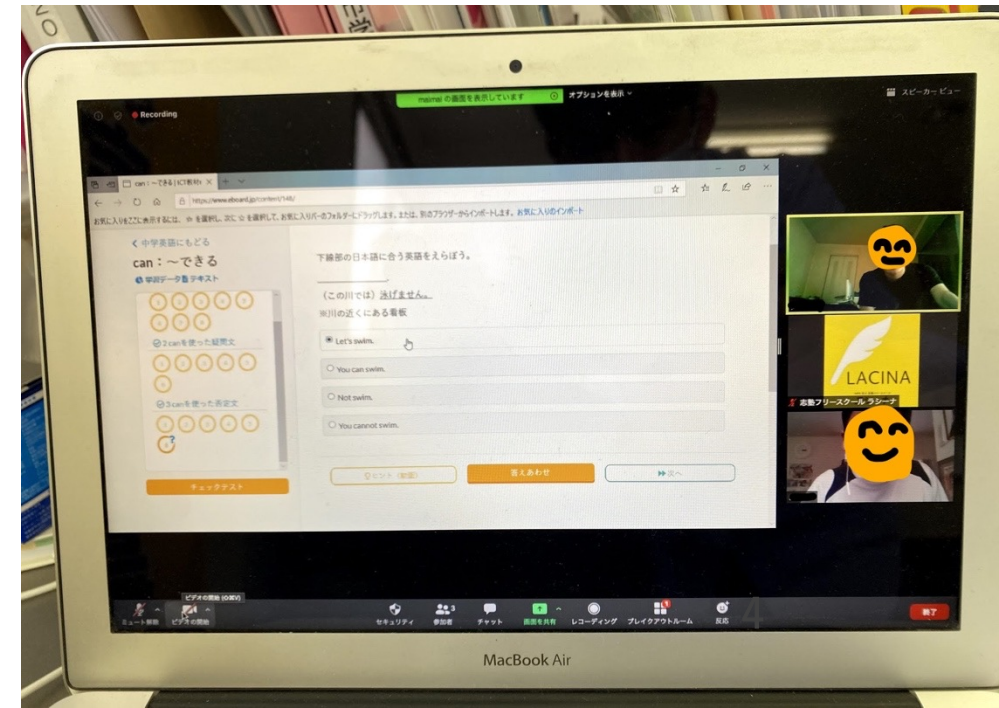
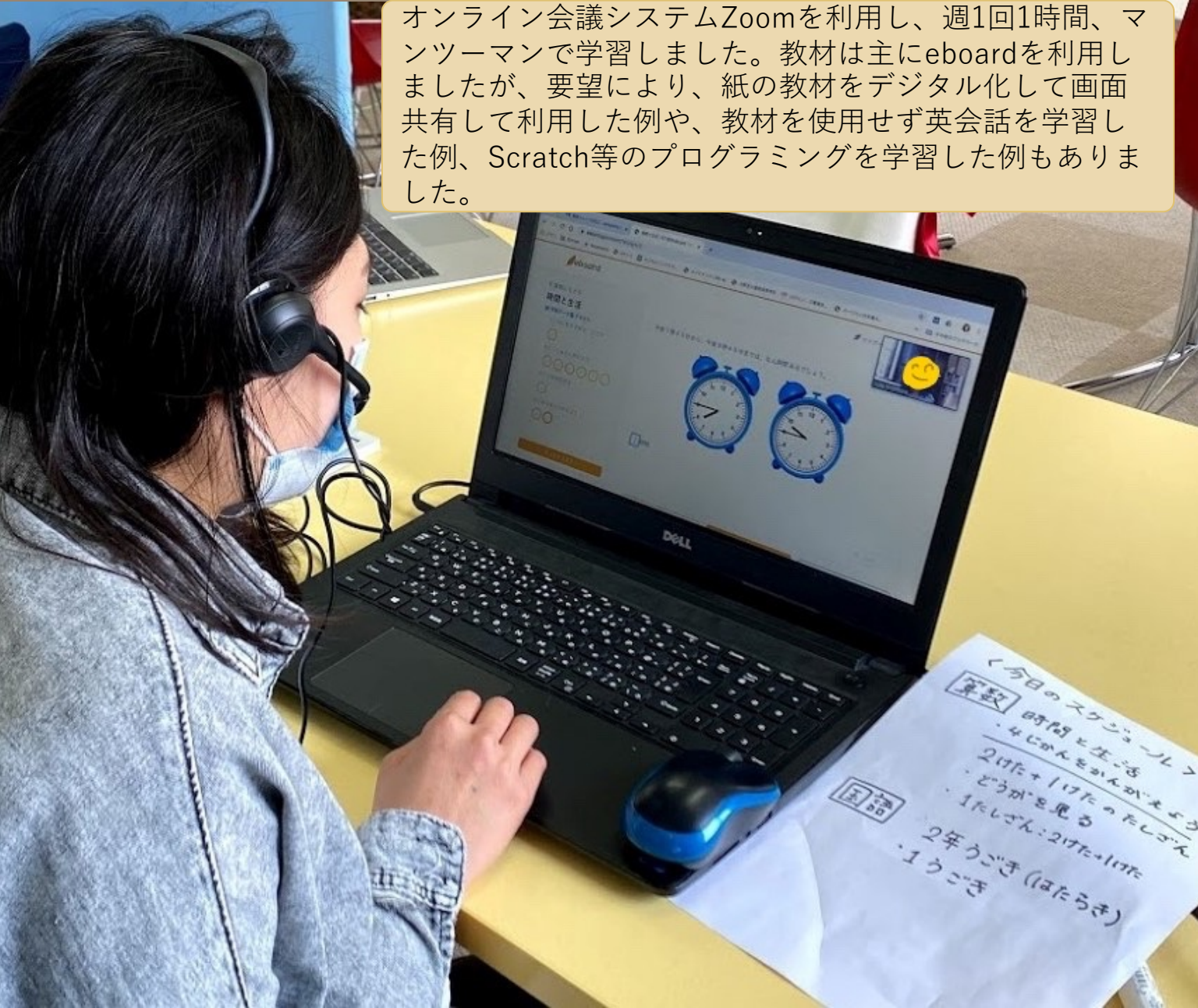
事業の背景

2020年3月に全国一斉休校となり、同年4月に1度目の緊急事態宣言が発出されました。移動の自粛により当団体が運営するフリースクールに通う小・中学生の生徒が教室に来ることができなくなったため、同年4月に既存生徒向けにオンラインでの学習支援を開始しました。

オンライン学習支援開始後、保護者向けアンケートにて「生活のリズムが整った」「人の目を気にせず学習に集中できる」「教室に出席する元気がないときでも自宅から学習できる」などの声から、オンライン学習ならではの良い効果があることがわかり、既存の生徒だけではなく、通学・通塾に不安がある一般の子どもにも広げたいと考え、同年10月より（公財）日本財団の支援を受け、全国の小中学生対象にオンライン学習支援事業を開始しました。

オンライン学習支援の様子

オンライン会議システムZoomを利用し、週1回1時間、マンツーマンで学習しました。教材は主にeboardを利用しましたが、要望により、紙の教材をデジタル化して画面共有して利用した例や、教材を使用せず英会話を学習した例、Scratch等のプログラミングを学習した例もありました。



利用者への事前レクチャー



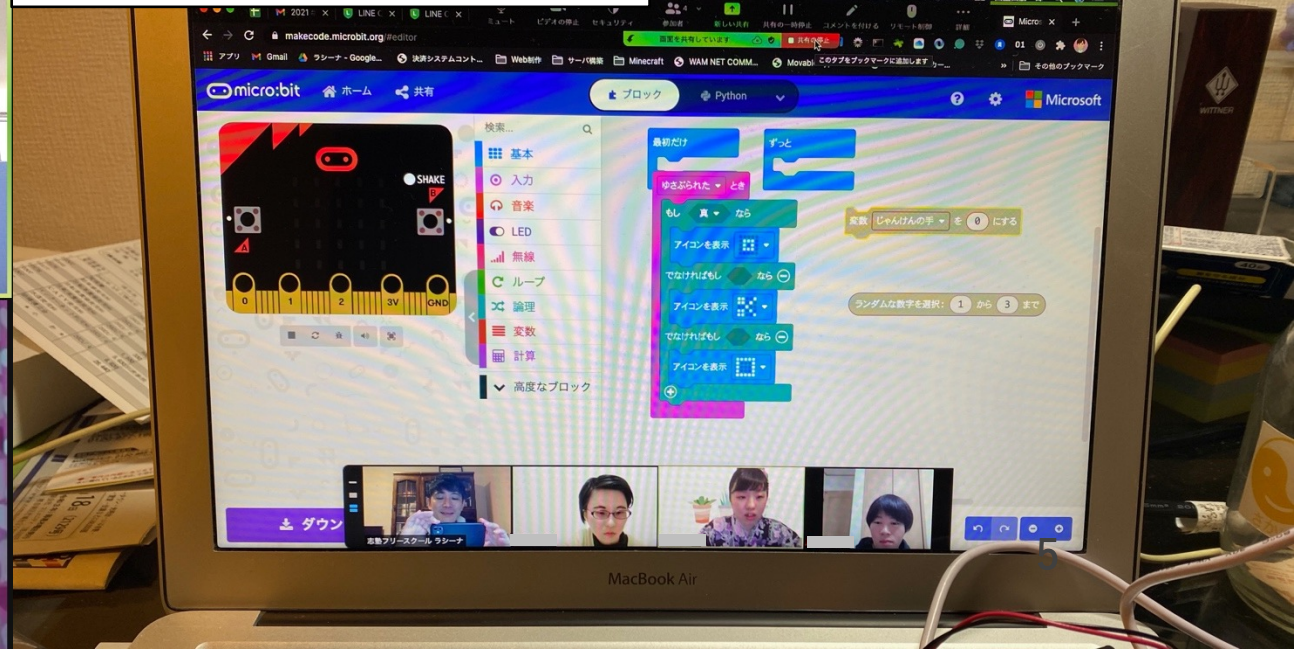
貸し出し用PCのセットアップ



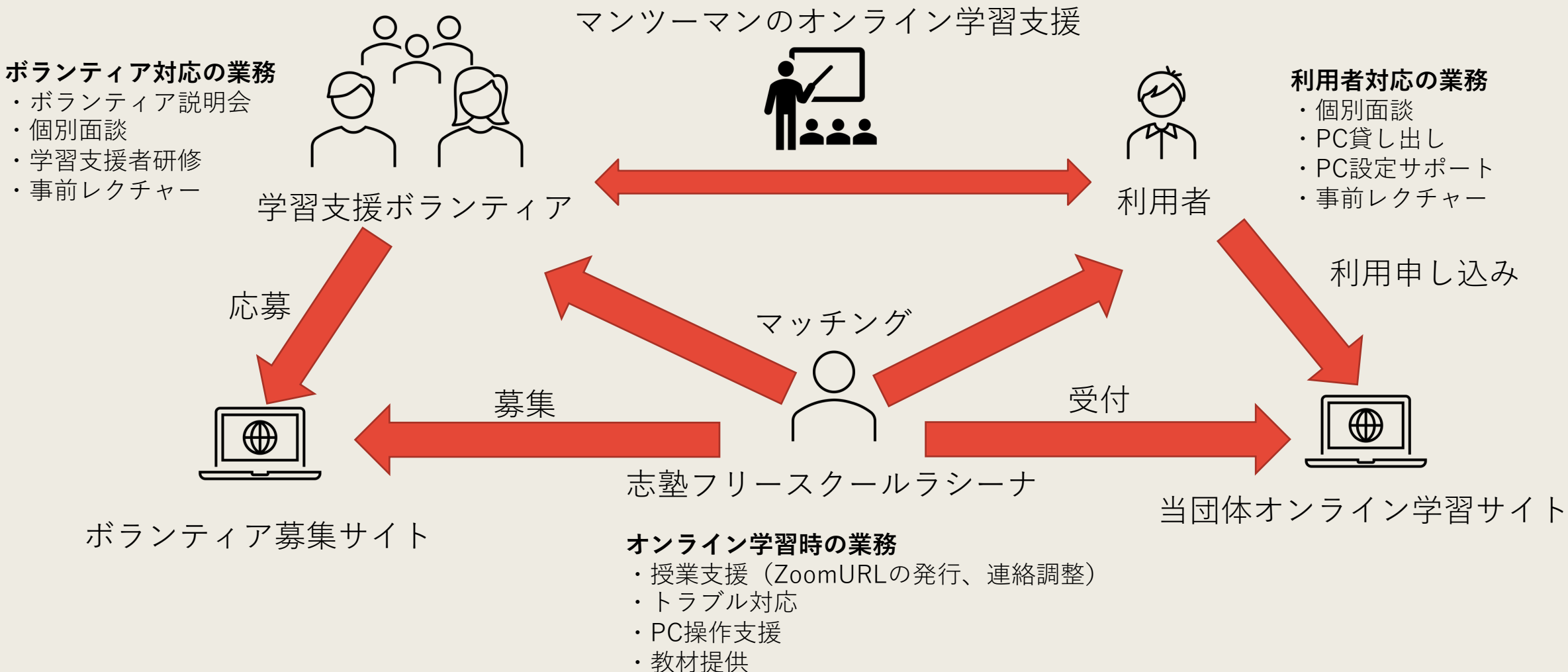
オンライン学習スタッフ交流会



プログラミング学習研修会



完全個別指導オンライン学習会「ノ・マド」の仕組み



・オンライン学習会実施内容について

週1回1時間、マンツーマンでのオンライン学習支援を月4回まで無料で実施。

利用者からの申し込みがあれば、保護者と本人に個別で面談を実施し、特性やニーズに応じてオンライン学習支援スタッフとのマッチングを行った。面談は原則当法人の教室で行なっていたが、遠方の場合や本人が引きこもり等で教室に来られない場合など事情に応じてオンラインでも行った。既存生徒2名を含む21名が当事業に申し込み、参加した。

・利用者の募集について

事業をPRするためのチラシを作成し、中間支援NPOを通じて富田林市内の公共施設20箇所、個人商店など5箇所で配架。また堺市内でも教育支援センターに協力を依頼し、市内2箇所でチラシの配架を行った。PR効果を高めるため、富田林教育委員会、堺市教育委員会それぞれの後援名義を取得した。チラシ以外では、富田林市の広報紙への掲載や、地域のミニコミ誌への掲載（取材していただき、取り組みを記事にさせていただきました）、ホームページの作成、Facebookページ開設などで広報を行った。

・オンライン学習スタッフの募集について

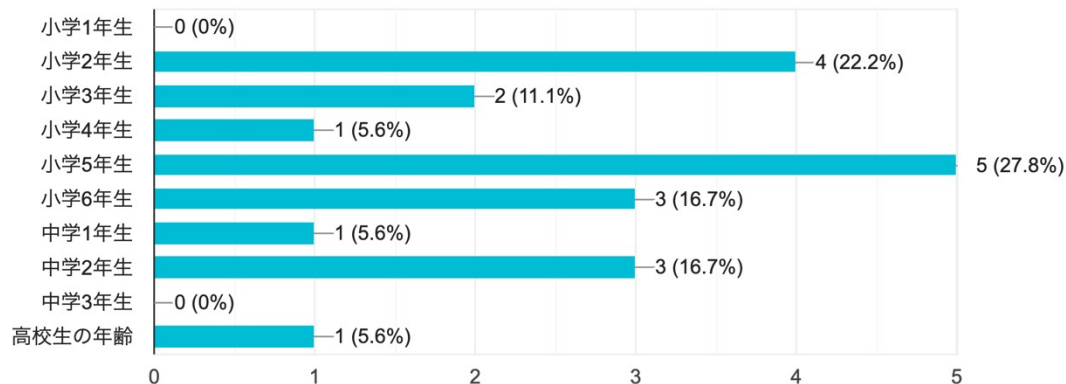
オンライン学習スタッフについては、ボランティア募集サイトにて、有償ボランティアとして募集を行った。全国各地から合計60名の応募があり、イギリス、ノルウェー、オーストラリア、フィリピンなど海外在住の方からも多数応募があった。

当初、当団体が運営するフリースクールの教室での説明会、研修会などを予定していたが、遠方からの応募が多数を占めたため、全てオンラインにて実施した。

オンライン学習 開始前アンケート結果

「ノ・マド」に参加したあなたのお子さんの学年を...合は、複数チェックをお願いします（複数選択）

18 件の回答



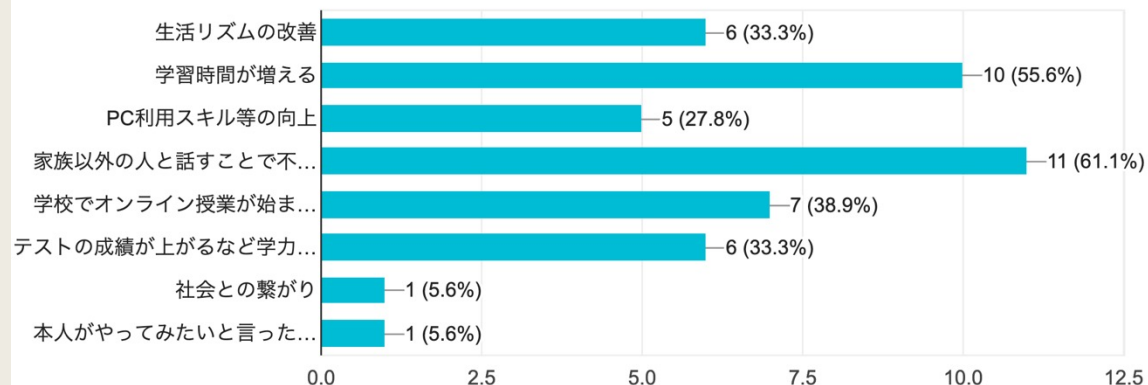
事業への申し込み後、実際の学習開始前に利用者と保護者にオンライン学習に関するアンケート調査を行った。

参加者の学年については小学2年生～中学2年生まで幅広い年代の参加があった。

オンライン学習に期待することがらについては、保護者の回答は「家族以外の人と話すことで不安やストレスの軽減につながる」が「学力の向上」を上回ったのに対し、利用者本人の回答では「学力の向上」が最多となった。

オンラインでの学習会について、どのようなことに期待していますか？（複数回答可）

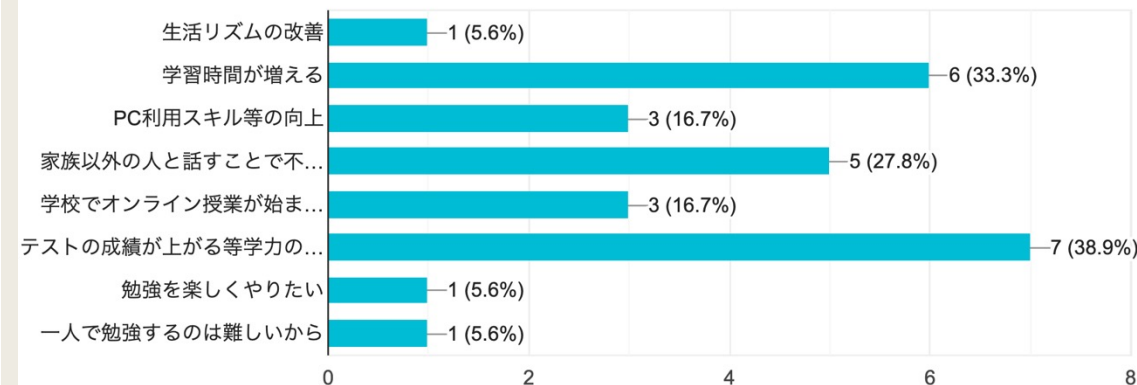
18 件の回答



保護者の回答

オンラインでの学習会について、どのようなことに期待していますか？（複数回答可）

18 件の回答

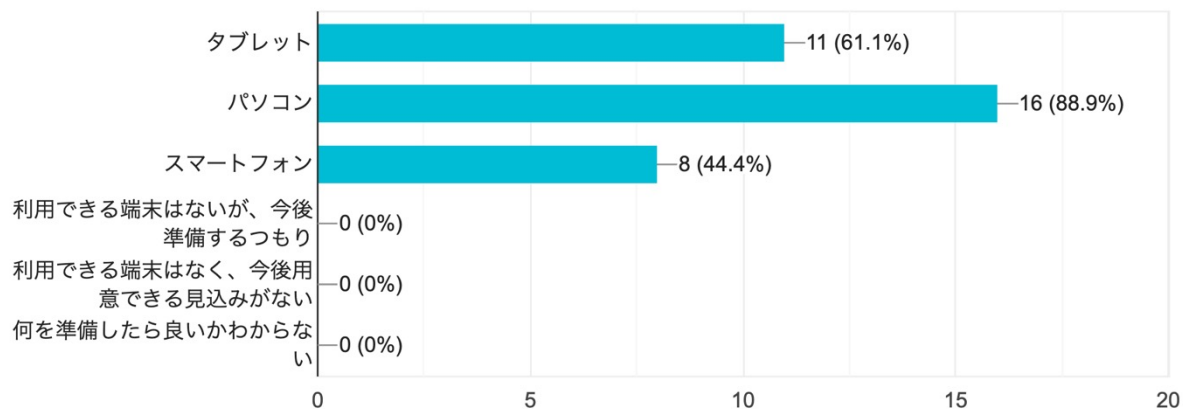


利用者本人の回答

オンライン学習 開始前アンケート結果（つづき）

インターネットにつながり、お子さまが学習に利用...る、ご家庭の情報端末をすべてお答えください。

18件の回答



オンライン学習を受ける環境についての質問については、PCが一番多かった。世間的にはスマートフォンの普及率のほうが高いことを鑑みると、PCなどの環境が最初から整っている人が多く申し込んでいたことが考えられる。なお、当事業では無償でオンライン学習用のPCの貸し出しを行ない、3名の利用があった。

インターネット接続環境に関する質問では、88.9%がデータ無制限でインターネットに接続でき、5.6%がインターネットに接続はできるがデータ容量に制限がある環境であり、インターネット接続環境がない家庭からの申し込みはなかった。

ご家庭のインターネット接続環境について教えてください。

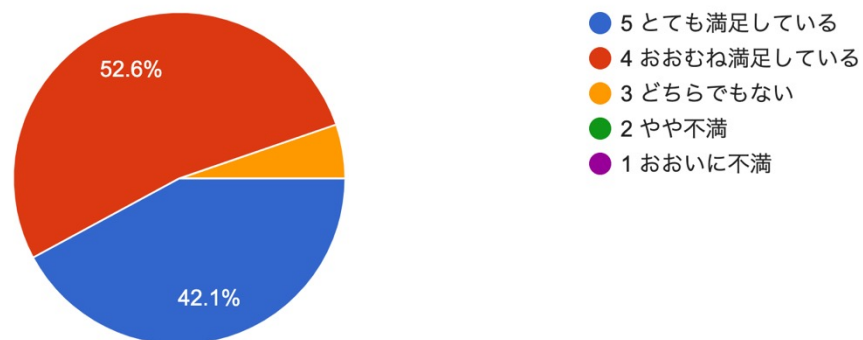
18件の回答



事業終了時アンケート結果

オンライン学習支援の満足度を教えてください。

19件の回答

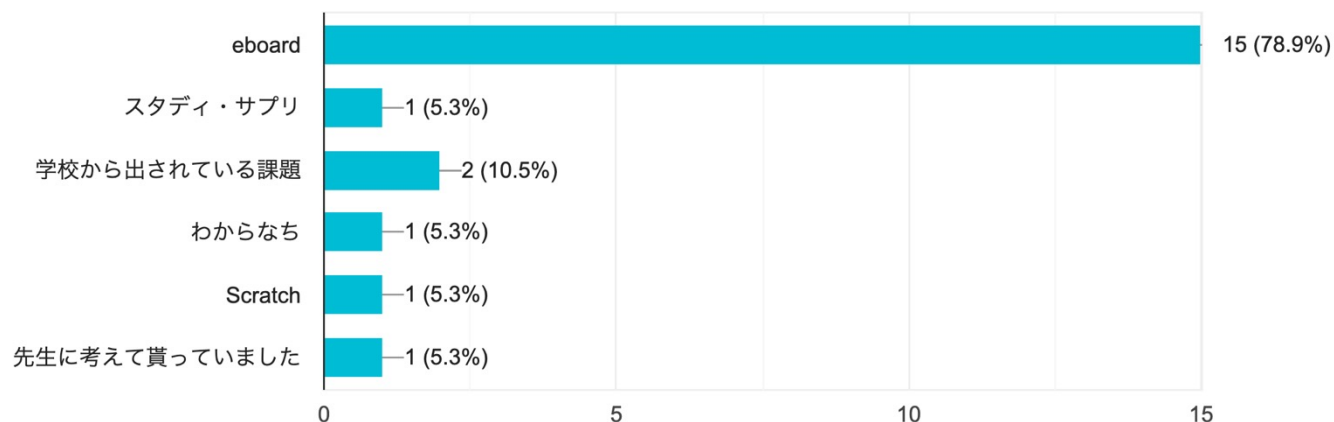


事業終了時のアンケート調査では、52.6%がとても満足、42.1%がおおむね満足と回答し、全体としての満足度は94.7%となった。

オンライン学習に利用した教材は当事業で標準教材として用意したeboardが主に利用されたが、要望に応じて学校の課題や、各家庭で用意した教材なども利用し、柔軟に対応した。

現在オンラインでの学習会で利用している教材は何ですか？

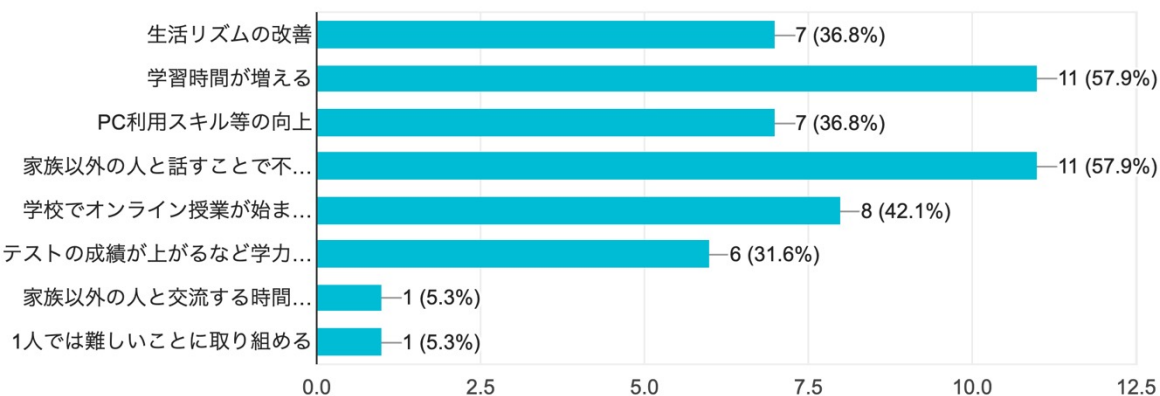
19件の回答



事業終了時アンケート結果（つづき）

オンラインでの学習支援について、どのようなことに期待していますか？（複数回答可）

19件の回答

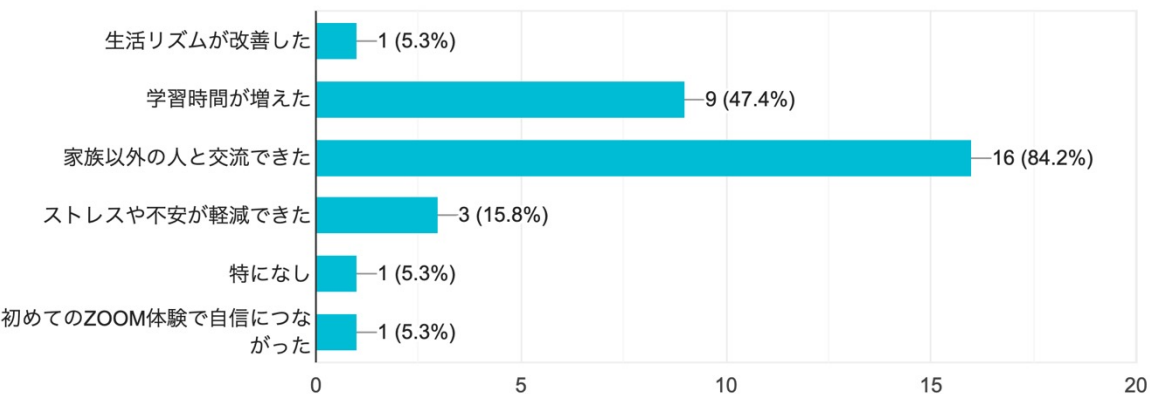


オンライン学習を始めてみて良かったことは、「家族以外の人との交流できた」が最も多く（84.2%）、続いて「学習時間が増えた」が多かった（47.4%）。利用者の中で現在不登校の児童生徒は全体の57%であり、不登校の児童生徒が「家族以外の～」を選択した割合が高かったことが推察される。

オンライン学習を始めてみて悪かったこととして、「ストレスや不安が増した」の回答もあり、マンツーマンの学習支援が合わない子どもも一定数いることがわかった。

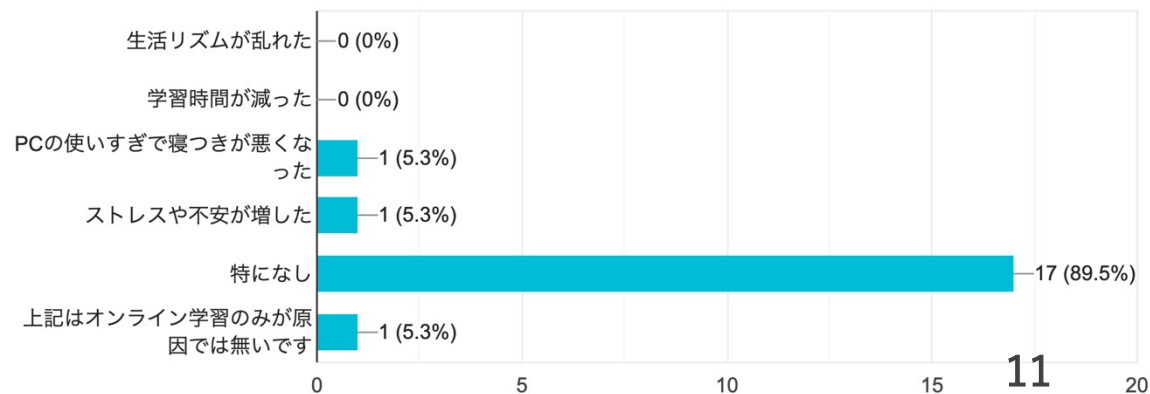
オンラインでの学習支援を利用して良い変化はありましたか？（複数回答可）

19件の回答



オンラインでの学習支援を利用して悪い変化はありましたか？（複数回答可）

19件の回答



・助成事業終了後の展開について

2021年3月31日に助成事業として終了した後、利用ニーズが高いことを鑑み、自主事業として継続することとした。これまで基本的に無料としていた参加費について、事業継続のため有料化を行った上で既存利用者に継続の意思確認を行ったところ、84.2%の参加者が継続すると回答した。

・オンライン学習支援事業を行うにあたって見えてきた課題について

①実際の学習支援以外にも、ボランティア説明会の開催、個別の面談、研修、生徒と先生のマッチング、スケジュールの連絡調整、リマインドなど管理業務の負荷が大変高く、ほとんどの業務がシステム化されておらず手動で行なっていたため、目に見えないコストが嵩んだ。

②学習支援に関わりたいボランティアの方は多いが当団体の広報力では利用者が少なく、供給過多の状態となった。

③学習支援ボランティア（有償）は全国各地から応募があったが、利用者は当団体が活動する地域である、富田林市、堺市周辺にとどまり、インターネットを利用した広報を行なっても他県へは広がりにくいということがわかった。

④オンラインでマンツーマン指導を行うため、ボランティア同士の繋がりが少なく、情報共有などがしにくかった。

上記の課題を解決するため、オンライン学習支援にまつわる業務を一括で管理できるシステムの開発や、全国の学習支援団体と連携して他府県にまたがって利用者を集める取り組みを行い、本事業を**オンライン学習支援プラットフォーム**として機能させるべく、計画をしている。

オンライン学習支援プラットフォームの仕組み

(これから作ろうとしている仕組み)

